

# 2005年3月期 決算説明

株式会社 リロ・ホールディング



2005年3月期 連結業績



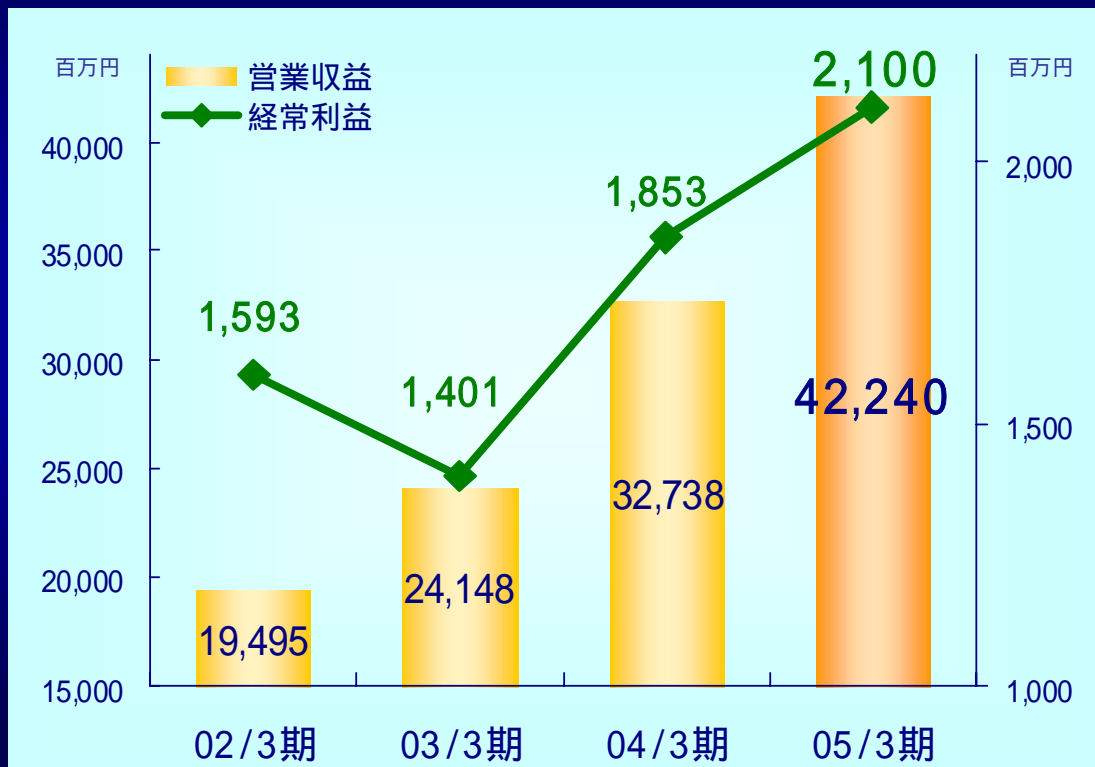
営業収益、経常利益は2期連続して過去最高を更新

単位：百万円

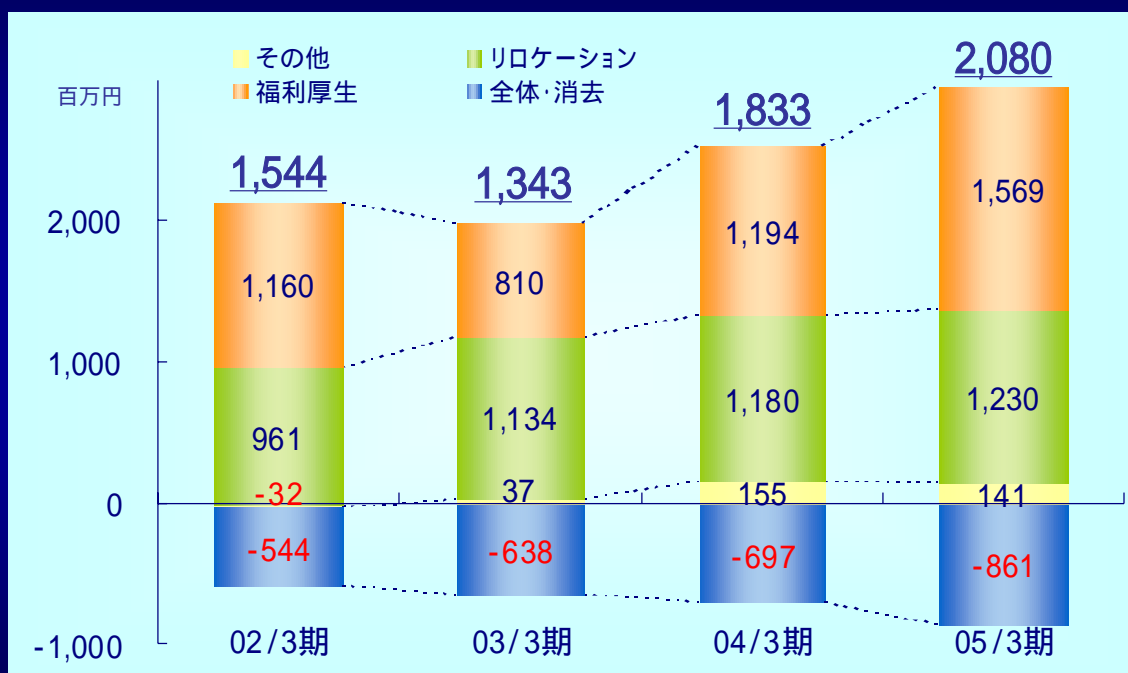
	05/3期 実績	04/3期実績	前年比	05/3期計画	計画比
営業収益	42,240	32,738	+ 29.0%	36,300	+ 16.4%
営業利益	2,080	1,833	+ 13.5%	2,040	+ 2.0%
経常利益	2,100	1,853	+ 13.3%	2,040	+ 3.0%
当期純利益	810	960	15.6%	780	+ 4.0%
*EPS(円)	108.08	127.52	15.6%	103.95	+ 1.1%
ROE(%)	10.8%	14.3%	-	10.5%	-

\*EPSについては、利益金処分前の当期純利益および分割前の株式数(7,503,860株)で算出

- 連結業績推移 -



- セグメント別営業利益推移 -



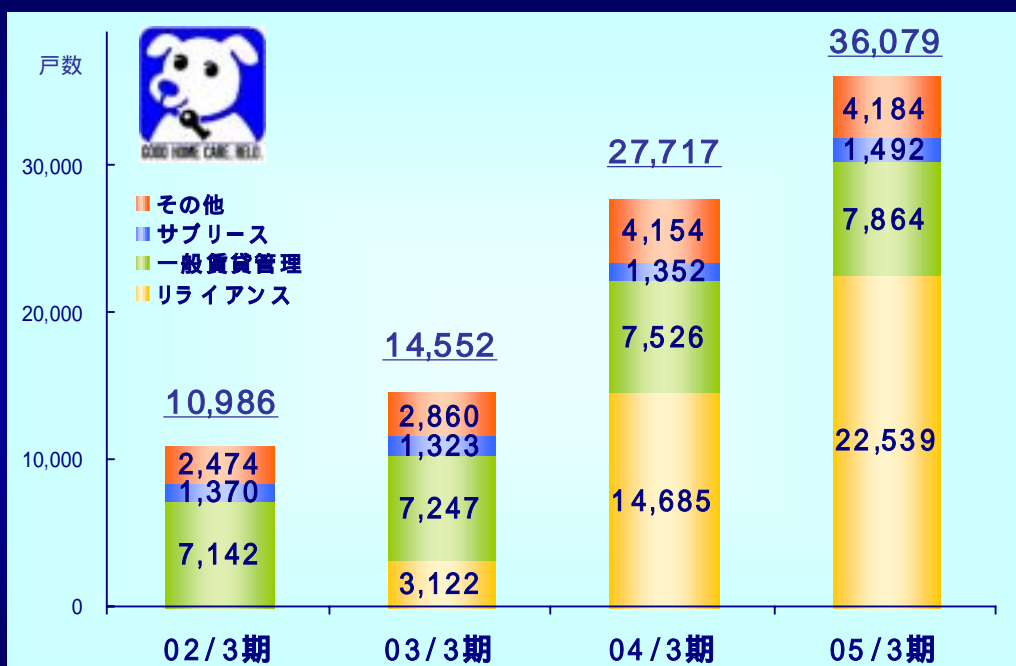
\* 下線数字は連結営業利益

## リロケーション事業セグメント

### リロケーション事業セグメント



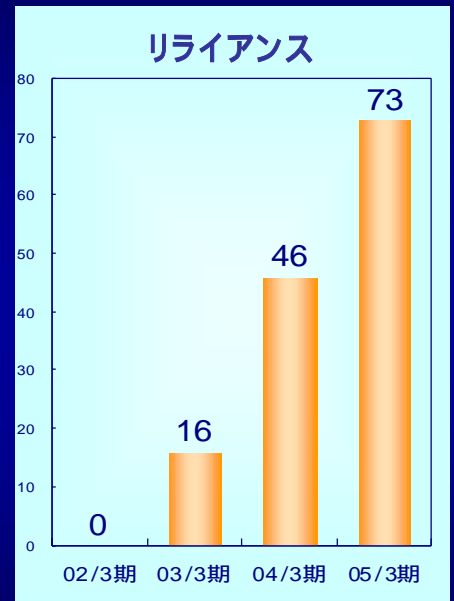
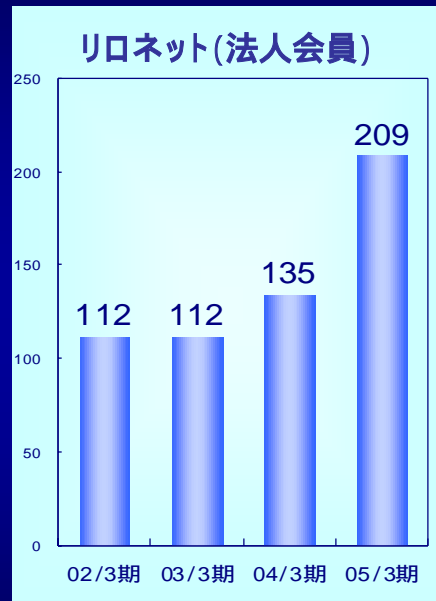
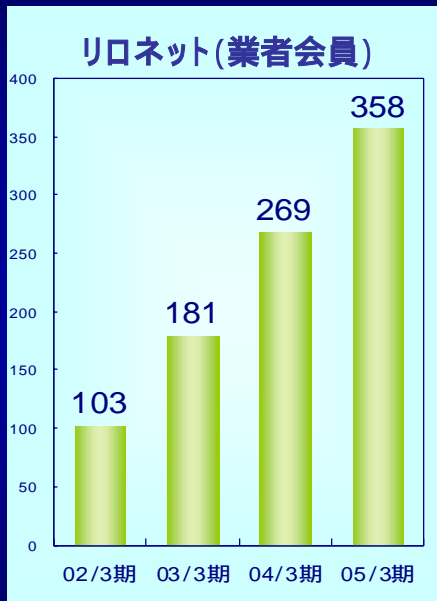
#### - 総管理戸数推移 -



総管理件数はリライアンスを中心に約30%増  
転勤留守宅管理についても300戸積み増し

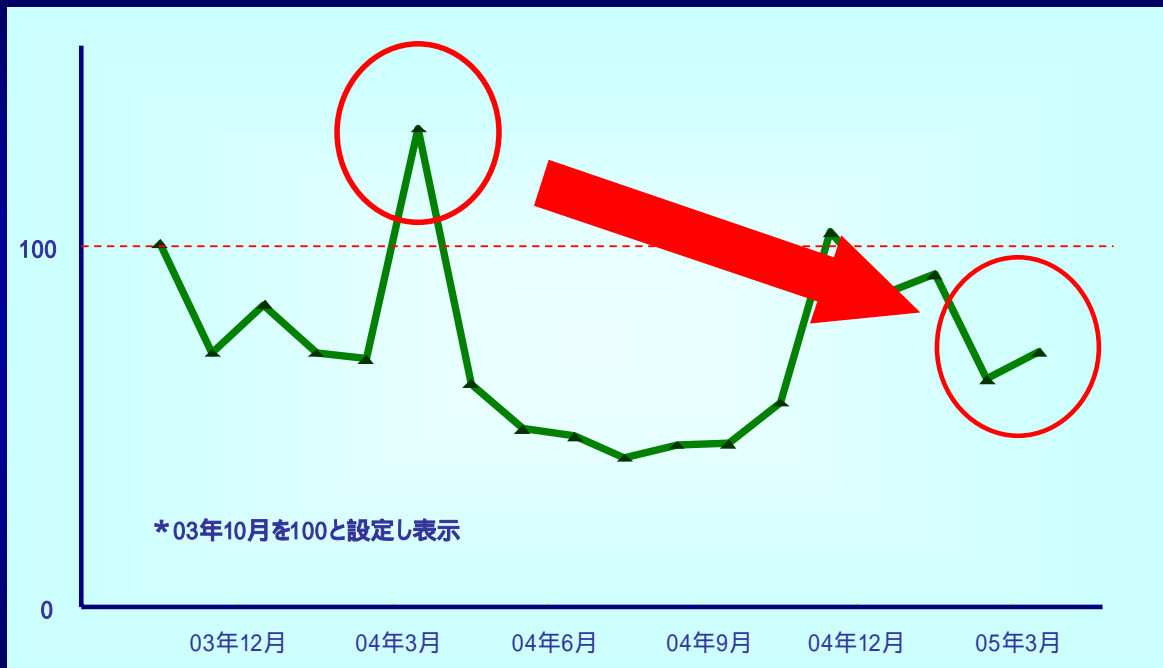
- 法人サービス契約社数推移 -

単位:社数



リライアンス、リロネットの法人顧客、管理業者数は順調に拡大  
特にリロネット法人会員は55%増加

- リライアンス原価推移 -

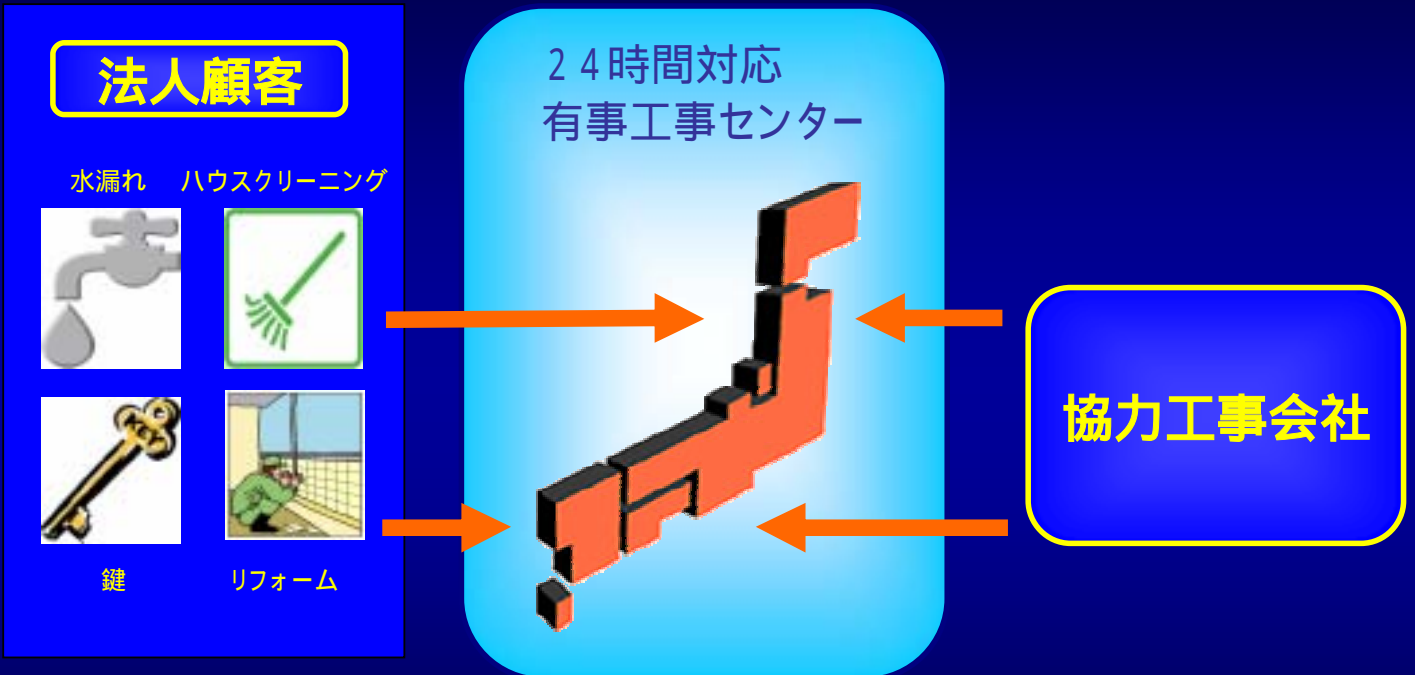


昨年3月末対比では約25%、通期でも約10%のコストダウン

- 営業利益推移 -



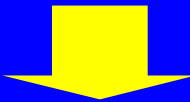
リライアンスの利益貢献が増加する一方、次なる成長を支える新規ビジネスの開発も進行



各企業の社有社宅・借上社宅向けにサービスを開始  
中長期的にはB2Cビジネスへ展開

- 06/3期の取組について -

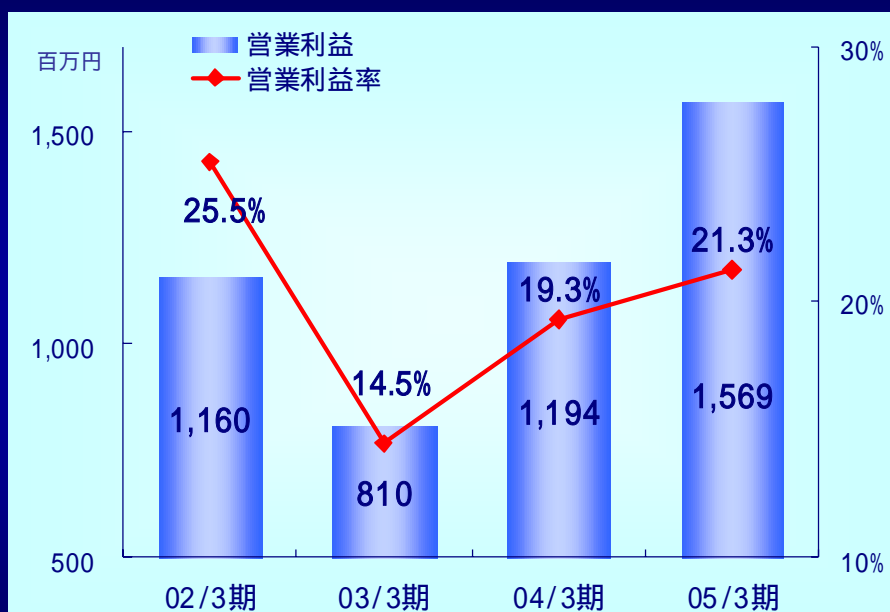
- 転勤留守宅の**全国サービス網**により、各企業の社内借上についてアウトソーシング推進
- 海外赴任業務のトータルアウトソーシング  
「**海外赴任navi**」の導入企業拡大
- **海外出資先との連携強化**による新サービス開発
- 新規事業「**有事工事センター**」の展開



国内外を問わず、転居に関わるサービスを拡充

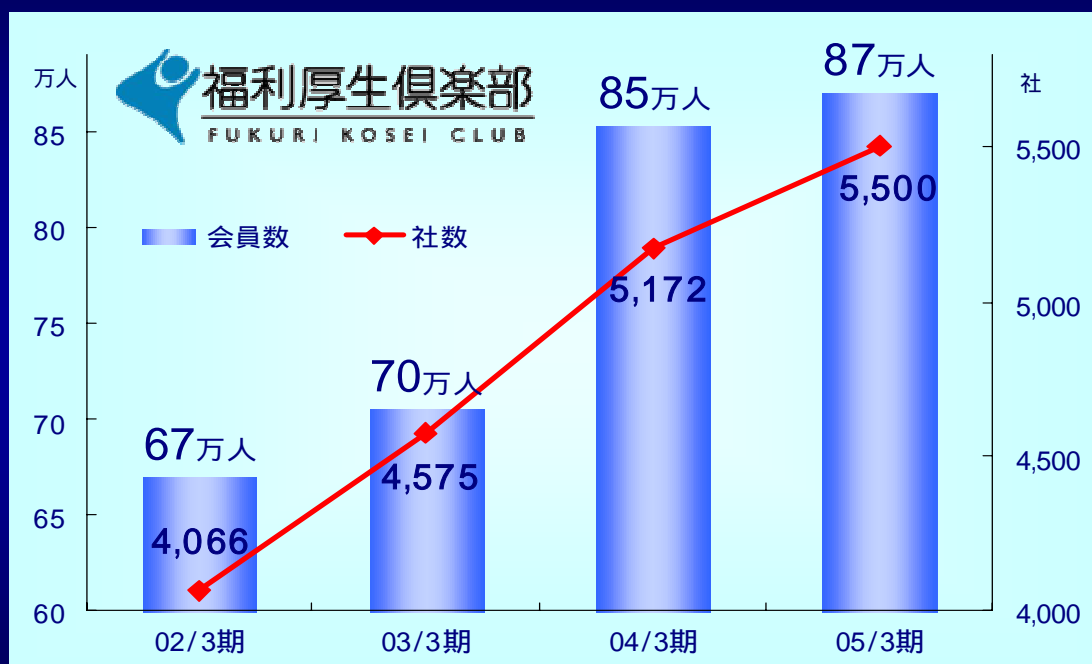
福利厚生代行サービス事業セグメント

- 営業利益推移 -



前期対比約4億円の増益  
「クラブオフ」が大きく躍進、「福利厚生倶楽部」も好調に推移

- 「福利厚生倶楽部」会員数・企業数推移 -



中小・中堅企業を中心に増加、契約社数は5,500社まで拡大

**バブル崩壊**

- ・コスト削減
- ・欧米型人事制度導入

**少子・高齢化**

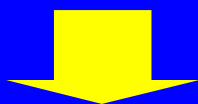
- ・コア人材の育成
- ・新たな日本型人事制度



バブル崩壊後、コスト削減を目的に欧米型制度が浸透してきたが、今後少子化が進行する中、新たな制度の構築が必須

- 今後の福利厚生制度 -

- 少子・高齢化が進み、将来の雇用確保が難しい状況に今後、雇用環境整備が事業主の課題

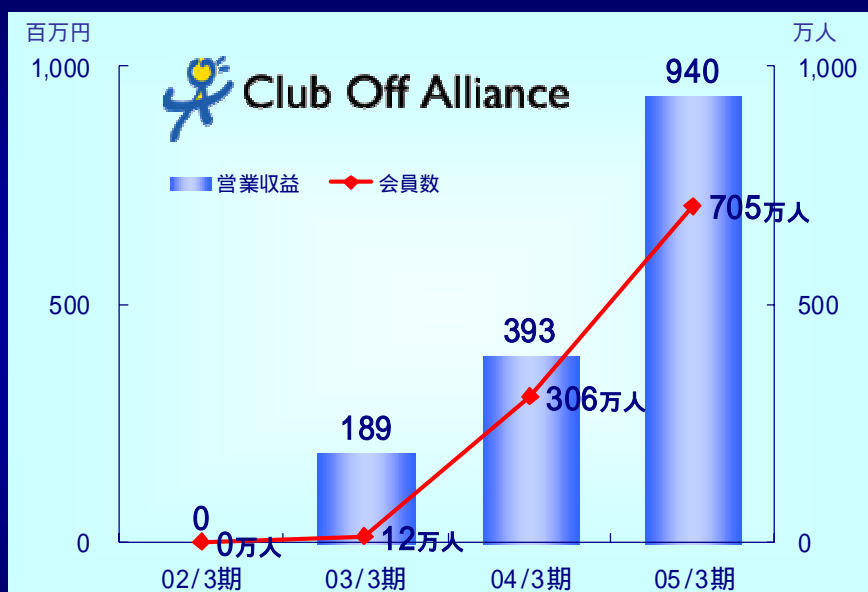


メンタルヘルスケア、社員教育  
退職者支援、育児・介護

「総合EAPサービスへの展開」  
(Employee Assistance Program)



- クラブオフ事業 -



前年比2.4倍の営業収益を達成  
顧客企業の増加に伴い、会員数も順調に拡大

- 06/3期の取組について -

< 福利厚生倶楽部 >

- 余暇支援からライフサポート強化により **総合EAP**へ
- 業界最大の **既存取引先5,500社**との取引深耕
- **「ふるむな倶楽部」**の新サービス展開

< クラブオフ >

- **700万人の会員組織**を活用、収益機会の拡大
- インセンティブ・プログラム事業を **総合プロモーション事業**へ



新たなビジネスモデルへのイノベーションを実行

## その他の事業セグメント

### その他の事業セグメント

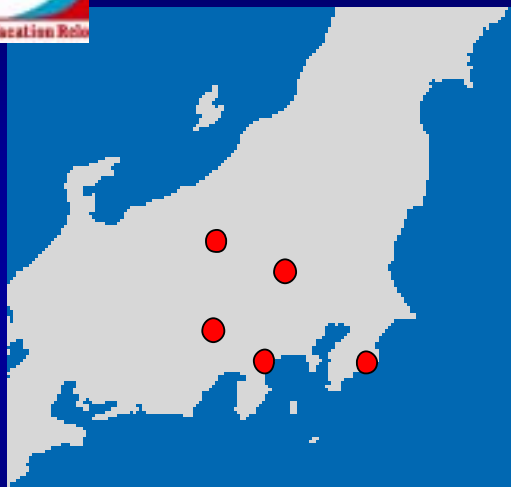


### - 会員制リゾート同業他社比較 -

	当社	A社	B社
主な価格帯	100万円～300万円	1,000万円以上	600万円～700万円
宿泊形態	ステイリゾート	リゾートホテル	リゾートホテル
利用形態	利用権	所有権	所有権
主な部屋面積	80㎡～120㎡	40㎡～60㎡	40㎡前後
特色	ポイント消化により各施設に宿泊	1年間の中で指定日に優先利用が可能	ホームグラウンド施設は優先予約可能
その他	グループネットワーク 全国3,600ヶ所の施設が利用可能	他のオーナーと優先利用日の変更が可能	全国20ヶ所の施設が利用可能

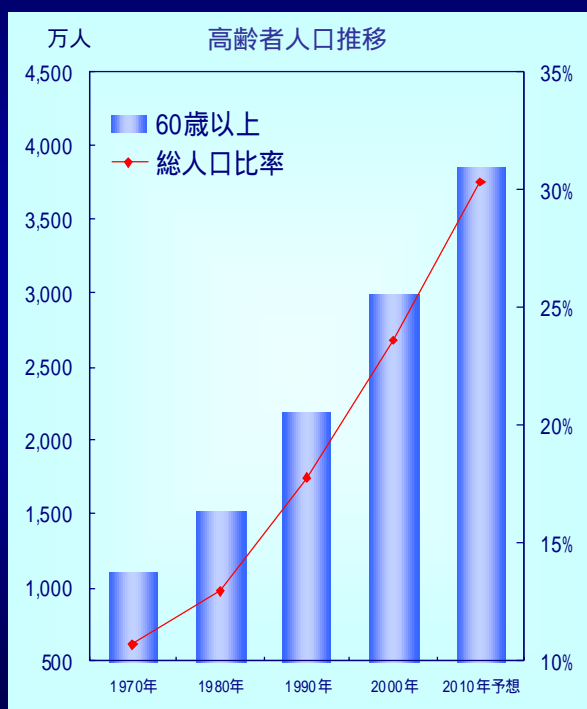


- 営業展開 -



**首都圏をターゲットに拠点を展開**  
 箱根(神奈川県)、勝浦(千葉県)  
 忍野(山梨県)、志賀高原(長野県)、軽井沢(長野県)

- 06/3期の取組について -



\* 参考 「国勢調査」

- 2007年から  
**団塊世代**の退職者増加  
2010年には高齢者人口が約4000万人に達する
- **ステイリゾート**の分野を確立  
リゾート市場での認知度向上
- 賃借での開設も併せ、  
**施設展開のスピードアップ**

## 経営基盤強化の取組

### 経営基盤強化の取組



#### - 05/3期の経営基盤整備 -

- プライバシーマークを事業会社にて一括取得
- ファイルサーバー統合によるITインフラ整備
- 株式分割による流動性改善策実施



#### - 06/3期の取組について -

- 営業支援体制の構築  
マーケティング室の設置、クロスビジネス推進
- 新規事業立ち上げ加速  
事業開発体制の強化

## 2006年3月期について

2006年3月期 事業計画

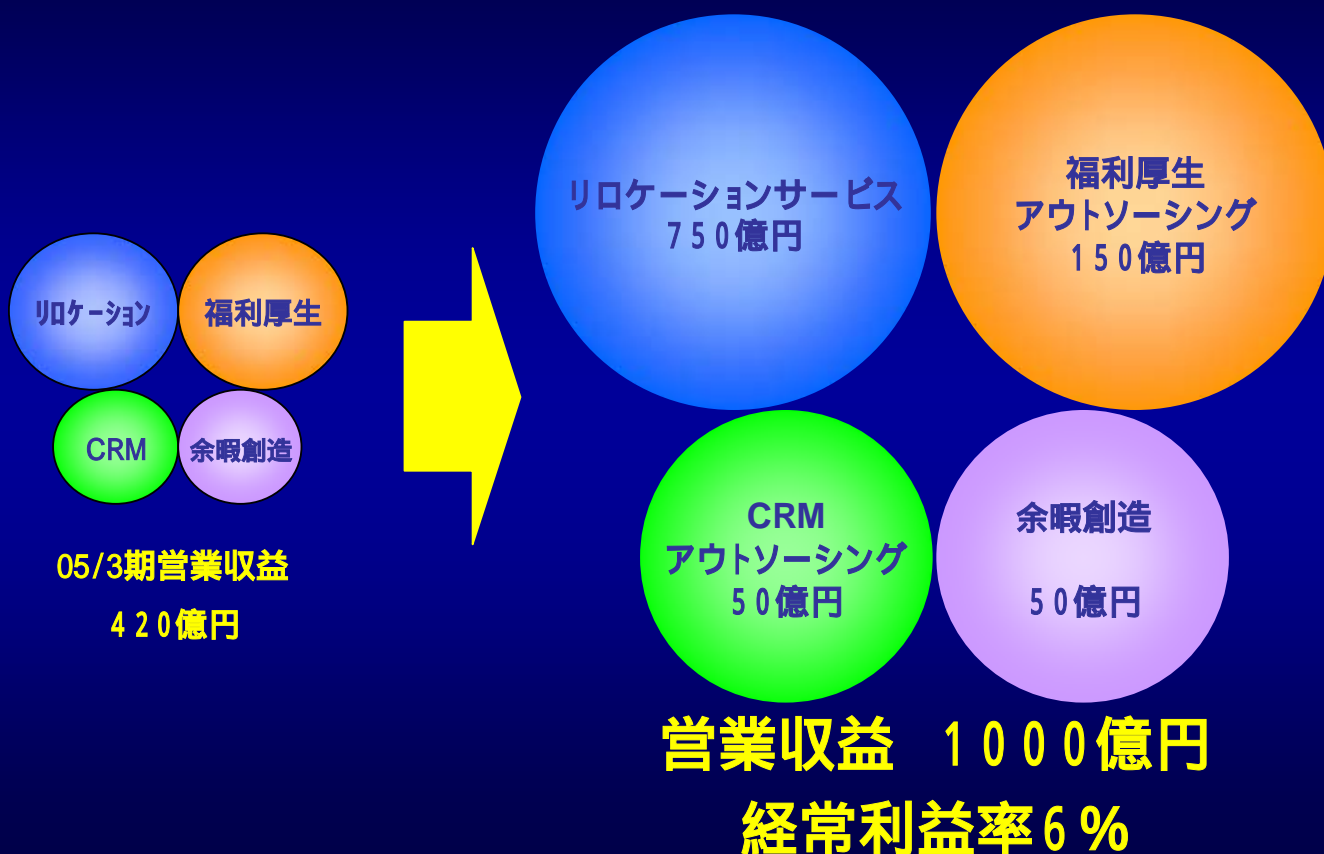


### 2桁成長を持続、1000億円企業へ邁進

単位: 百万円

	06/3期 計画	05/3期実績	増減	前年比
営業収益	55,000	42,240	+ 12,760	+ 30.2%
営業利益	2,350	2,080	+ 270	+ 12.9%
経常利益	2,350	2,100	+ 250	+ 11.9%
当期純利益	1,050	810	+ 240	+ 29.5%
* EPS (円)	69.96	54.04	+ 15.92	+ 29.5%
ROE (%)	12.0%	10.8%	+ 1.2%	-

\* EPSについては、利益金処分前の当期純利益および分割後の株式数(15,007,720株)で計算



執行役員CFO : 門田 康

企画IRグループ : 北村 真二

TEL: 03-5312-8704 FAX: 03-3225-971

E-Mail: ir@relo.jp

URL : <http://www.relo.jp/>

本資料は、2005年3月期(第38期)決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2005年3月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。